

年報 2023



筑紫女学園大学
社会連携センター

令和5年度

目 次

概 要	 1
域学・産学官連携	 2
生涯学習	 4
社会連携・地域交流	 5
事業報告	 7

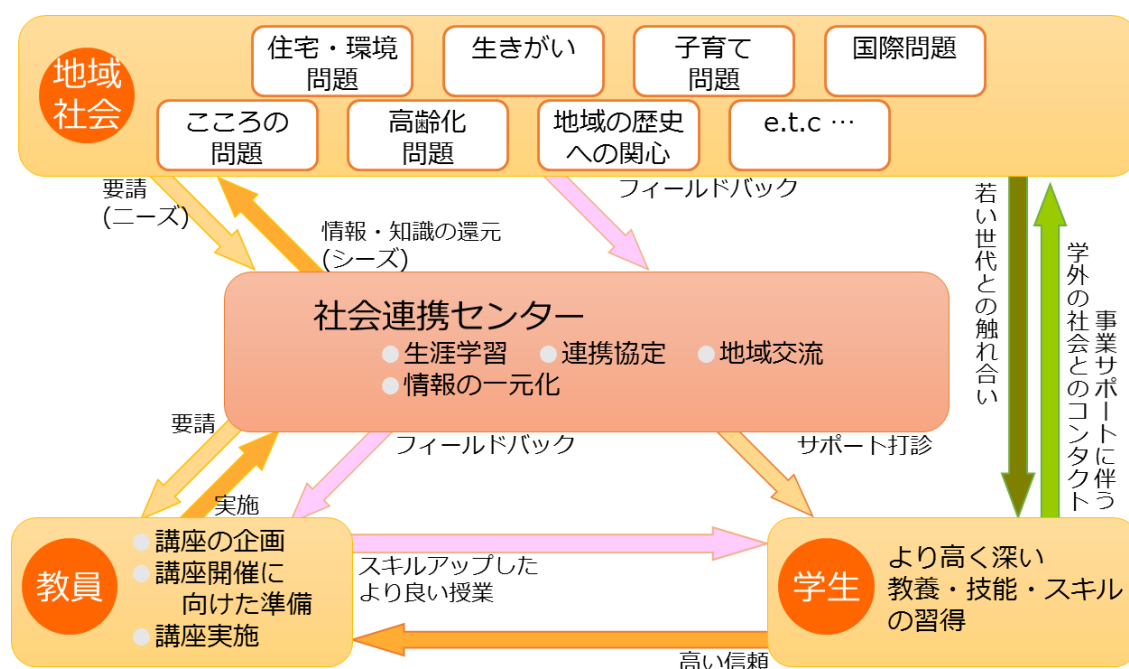


概 要

地域における知の拠点として

2018（平成 30）年に開設された筑紫女学園大学社会連携センターは、地域における知の拠点としての存在を高め、持続可能な社会の創造に寄与する学生が育つ大学の構築を目指します。

地域から寄せられる様々な課題（地域ニーズ）と本学の教育・研究成果による学内資源（大学シーズ）とのマッチングをはかり、地域社会と大学をつなぐ役割を担っています。



建学の精神 = 自律・和平・感恩

他大学・団体及び地域の公共機関等との連携・相互交流を推進し、建学の精神に基づく本学の社会的役割を果たすことを目的とし、さまざまな事業を行っています。

また、教育や福祉、社会活動実践に係る事項を中心にボランティア派遣、講師派遣、教育実習等の受入れなどについて個々に連携した事業を実施し、地域コミュニティの発展や教育・福祉に関する事項や人材育成に協働し、地域活性化や教育に相互に取り組み、今後さらに相互の資源を活用し相互に取り組むためにさまざまや自治体および企業と協定を締結しています。

域学・産学官連携

各連携先との事業および自治体、企業との産学官連携事業を実施しています。

●太宰府市

太宰府市と太宰府地区の大学とで組織する官学間連携組織「キャンパスネットワーク会議」に加盟し、総会、幹事会、学生連絡会及びキャンパスフェスタなどに参加。

その他、太宰府市立図書館協議会、太宰府市男女共同参画審議会、太宰府市まちづくり協議会、太宰府市環境審議会、太宰府市子ども・子育て会議、太宰府市地域福祉推進委員会、太宰府市文化財専門委員会、太宰府市文化財保存活用地域計画策定協議会、公益財団法人太宰府市国際交流協会等々の委員として本学の教員が活躍。

●太宰府市教育委員会

不登校児童生徒支援（居場所づくり）事業を教育委員会と協力して推進。教育委員会が実施している「つばさ学級」との交流、スマイル・サポート制度による不登校児童生徒の支援を学内で実施。（P5 参照）

●太宰府市社会福祉協議会

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」へ向けた人的・知的資源を連携させることにより、太宰府市の福祉的課題解決及び地域の発展と共に、筑紫女学園大学の教育・研究活動の発展と充実による地域及び筑紫女学園大学の人材育成を目的とした連携協定を締結。太宰府市とも連携した災害時福祉や児童福祉など、地域の課題解決などに取り組むことを検討。

●九州国立博物館

博物館と教育機関との連携・協力をより緊密かつ効果的なものとするために導入された「キャンパスメンバーズ」会員制度に加入。

●筑紫野市

相互の資源を活用した連携の強化を図り、地域コミュニティの発展、文化及び産業の振興、人材育成、教育・福祉の充実に相互に取り組むために協定を締結。筑紫野市の行政課題の解決、筑紫女学園大学の教育・研究の充実など双方にとって有益な連携事業を推進。

その他、筑紫野市子ども・子育て会議、筑紫野市いじめ防止等対策委員会、筑紫野市ひと・まち・しごと創生推進審議会、筑紫野市男女共同参画審議会、筑紫野市都市計画審議会、筑紫野市地域福祉計画等推進委員会、筑紫野市障害者施策推進協議会等々の委員として、本学教員が活躍。

●福岡市教育委員会

教員を志望する学生の資質・能力の向上を図り、もって学校教育の充実・発展に寄与することを目的に、福岡市教育委員会と教員養成にかかる連携・協力協定を締結。

●福岡未来創造プラットフォーム

大学および都市の魅力づくりを行うことを目的として 2009 年に設立された「大学ネットワークふくおか」を発展的に解消し、福岡都市圏に位置する大学、自治体、産業界が既存の組織・領域・分野の枠を越えて、連携・交流を促進することにより、高等教育の振興と地域社会の活性化に寄与することを目的に包括連携協定を締結。

○参画機関（2023 年度）

九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、日本経済大学、福岡工業大学、福岡国際医療福祉大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学、福岡市、福岡商工会議所、一般社団法人福岡中小企業経営者協会

●日本航空株式会社

人的・知的資源の交流と活用を図り、連携のもと、教育研究等の分野において相互に協力し、社会の発展と地域に根差した教養豊かなグローバル人材育成に寄与することを目的に連携協定を締結。

●エフコープ生活協同組合

本学が災害ボランティアなどに取り組む中で、エフコープ生活協同組合と連携・協力した活動を展開してきたことをきっかけに、太宰府市など近隣地域において災害が発生した際にさらに連携を強固なものとするために、2019 年に「災害発生時における相互協力に関する協定書」を締結。その後、人的・知的資源の交流と活用を図るため、2022 年に包括連携協定を改めて締結。

●福岡教育大学

福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻と連携し教員養成の充実を図ることを目的に、教員養成に関する連携協定を締結。

●東峰村

村が抱える行政課題や地域課題の解決を図るとともに、村をフィールドとした大学の教員の研究および学生の実習や社会活動を充実していくために、包括連携協定を締結。

●福岡信用金庫

人的・知的資源の交流と活用を図り、連携のもと、教育・研究等の分野において相互に協力し、地域に根差した教養豊かな人材育成と社会の発展に寄与していくために、連携協定を締結。

●大塚製薬株式会社

資源、機能等の効果的な活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携・協力し、健全かつ自立した人材育成と地域社会の健康課題解決・発展に寄与していくために、包括連携を締結。

●済生会二日市病院

地域社会への貢献において医療・福祉・教育・研究に係る社会課題の解決につなげ、健康で豊かな社会作り（すべての人が安心して暮らせる地域づくり）に寄与できるなど双方にメリットがあることから、連携協定を締結。

《2023 年度締結》

●公益財団 福岡人権啓発情報センター

相互の資源の活用を図り、人権問題に関する教育・研究・啓発を通じて、人権が尊重される社会の実現に寄与していくために、連携協定を締結。

生涯学習

本学における教育と研究の成果を地域社会に還元し、大学の社会的使命を果たすことを目的とし、さまざまな公開講座を開催しています。

(2023 年度)

2023年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座 受講料 無料

第24回 仏教文化講座「経典から学ぶ」(3回)

6月3日(土) 14:00-16:00 講師：小林 久泰 会場：6101
6月10日(土) 14:00-16:00 講師：真名子 晃征 会場：6101
6月17日(土) 14:00-16:00 講師：栗山 俊之 会場：6101

子ども工作教室 ～オリジナルのネームプレートを作ろう！～
6/17 土 10:00-12:00 講師：大西 良 会場：1203 定員：50名

みんなで“不登校”について考えるセミナー
7/1 土 10:00-12:00 講師：大西 良 会場：6101 定員：50名

インドネシアの青銅楽器ガムランと多文化共生
7/8 土 13:00-16:00 講師：山本 百合子、田村 史子 会場：スクウェアティーホール 定員：30名

2023(令和5)年度 後期 筑紫女学園大学 公開講座 受講料 無料

東志津監督ドキュメンタリー映画「北のともしび」上映会＆観後トーク
10/7 土 13:00-15:30 会場：スクウェアティーホール 定員：50名

臨床心理センター 相談員有志による公開講座「ひきこもり支援を考える」
10/28 土 13:00-15:00 会場：スクウェアティーホール 定員：50名

英語と英文学の世界① 魅力あふれる英語前置詞の世界
11/25 土 11:00-12:30 会場：8103 定員：28名

英語と英文学の世界② 魅力あふれる英語前置詞の世界
12/2 土 11:00-12:30 会場：8103 定員：28名

アジア塾～インドの宗教と伝統文化～① ヨーガ・ワークショップ
10/28 土 13:00-15:00 会場：筑紫女学園大学茶室 定員：20名

② インド宗教詩イスラムとヒンドゥー
11/11 土 13:00-15:00 会場：警固キャンパス水月ホール 定員：33名

③ 南インドの信仰と芸能
11/18 土 13:00-15:00 会場：6101 定員：35名

アジア文化体験講座 芸術のチカラ 音楽と詩 ガムラン×女流詩人・亀井少葉
11/25 土 13:00-15:00 会場：浄満寺門徒会館 定員：31名

筑紫雄偉い出カワ博物館の地域活動 ～想い出キットによる回想法美術
11/27 土 17:20-19:00 会場：8103 定員：5名

文学と南 シンポジウム・筑豊と沖縄
12/2 土 11:00-12:30 会場：直方市立図書館 定員：90名

カラーコーディネートしてみよう！(ファッション&インテリア)
12/23 土 11:00-12:30 会場：コンピュータ演習 定員：19名

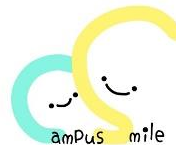
2023年度(令和5)公開講座 受講者数一覧

No.	講座名	講師	会場	開催日	受講者数
前期					
1	第24回仏教文化講座「経典から学ぶ」①『維摩経』から学ぶ	小林 久泰	6101	6月3日	52
	②中国仏教文獻から学ぶ	真名子 晃征	6101	6月10日	44
	③親鸞聖人御消息から学ぶ	栗山 俊之	6101	6月17日	53
2	子ども工作教室～オリジナルのネームプレートを作ろう！～	大西 良	1203	6月17日	35
3	みんなで“不登校”について考えるセミナー	大西 良	6101	7月1日	50
4	アジア文化体験講座 インドネシアの青銅楽器ガムランと多文化共生	山本 百合子 田村 史子	スクウェアティーホール	7月8日	30
					計 264
後期					
5	第29回仏教学研究室公開講義 「ビジュアル～親鸞の歩んだ道～」 ①親鸞の出自と比叡山での修学	川尻 洋平	別府別院	10月7日	12
	②越後での親鸞	小林 久泰	別府別院	10月14日	12
	③専修念仏入門・専修念仏弾正	宇治 和貴	別府別院	10月21日	6
	④関東での伝道	栗山 俊之	別府別院	11月4日	8
	⑤晩年の執筆活動と関東での弾正	宇治 和貴	別府別院	11月11日	8
6	東志津監督ドキュメンタリー映画「北のともしび」	高山 百合子	スクウェアティーホール	10月7日	68
7	『ひきこもり支援を考える』	臨床心理センター	スクウェアティーホール	10月28日	41
8	アジア塾～インドの宗教と伝統文化～① ヨーガ・ワークショップ	金菱 哲宏	筑紫女学園大学茶室	10月28日	20
	② インド宗教詩イスラムとヒンドゥー	川尻 洋平 村上 明香	警固キャンパス水月ホール	11月11日	33
	③ 南インドの信仰と芸能	井上 貴子	6101	11月18日	35
8	アジア文化体験講座 芸術のチカラ 音楽と詩 ガムラン×女流詩人・亀井少葉	森川 澄美江 田村 史子	浄満寺門徒会館	11月25日	31
9	筑紫雄偉い出カワ博物館の地域活動 ～想い出キットによる回想法美術	小林 知美	8103	11月27日	5
10	英語と英文学の世界① 魅力あふれる英語前置詞の世界	松崎 徹	8103	11月25日	28
	② 英国口承歌からホラー映画へ	宮原 牧子	8103	12月2日	23
	③ English Language Songs: Old and New	Stephen Paton	8103	12月9日	28
11	文学と南 シンポジウム・筑豊と沖縄	松下 博文	直方市立図書館	12月2日	90
12	カラーコーディネートしてみよう！(ファッション&インテリア)	岡本 文子	コンピュータ演習	12月23日	19
					計 467

社会連携・地域交流事業

●太宰府市不登校児童生徒の居場所づくり事業「キャンパス・スマイル」

2019 年から、太宰府市内に在住する「学校に行きたいけど行けない、あるいは機会があれば学校以外のところでも学習したい」などと思う子どもたちに対して、安心して過ごせる“居場所”を大学キャンパス内につくり、子どもたちの自信とエネルギーの回復を目指した「キャンパス・スマイル」の取組みを開始しました。



【事業名】太宰府市不登校児童生徒の居場所づくり事業

・太宰府市教育委員会が行う不登校児童生徒の居場所づくり事業の共同実施。機関による実施に関して、共同実施合意書を締結。（2019 年 5 月 28 日）

【事業内容】

1. 筑紫女学園大学は、太宰府市内の不登校及び不登校兆候児童生徒の居場所づくりとして、大学内で「キャンパス・スマイル」事業を実施する。
2. 「キャンパス・スマイル」には、児童生徒と一緒に勉強したり活動したりする大学生のスマイル・サポーターを配置する。
3. 筑紫女学園大学と太宰府市は、スマイル・サポーター希望者に対して 3 時間の講習を義務付け、全ての講習を修了した者をスマイル・サポーターとして認める。
4. 「キャンパス・スマイル」においては、スマイル・サポーターの大学での授業時間を優先した上で、児童生徒の希望を聞きながら受入時間を決定する。
5. 「キャンパス・スマイル」においては、以下の条件を満たす児童生徒を受け入れる。
 - ・教育支援センターを通じて申込書を提出し、筑紫女学園大学が許可した児童生徒
 - ・保護者が責任を持って送迎を行う児童生徒（自転車での一人での参加は認めない）

（2023 年度）

前期 「キャンパス・スマイルサポーター」の育成 後期より居場所づくり事業を対面で実施

■スマイル・サポーター養成講座 ※102 名活動

キャンパス・スマイル活動に参加を希望する学生は、3 時間の事前講義を受講。（修了生：48 名）

■キャンパス・スマイル活動

（前期）2023 年 5 月 15 日～7 月 21 日 （後期）10 月 2 日～1 月 19 日

■太宰府市教育支援センターつばさ学級の子どもの来学

大西良准教授（人間科学部人間科学科心理・社会福祉専攻）の授業受講生と共に月 1 回の活動
2023 年度 5 月・6 月・10 月 11 月・12 月 計 5 回（7 月は雨天中止）

■太宰府市教育委員会との連携会議

キャンパス・スマイル事業についての意見交換を通して、本年度の成果と次年度に向けた方向性について協議を実施。

●筑紫思い出カフェ～回想法による「ともいき」の試み～

「筑紫思い出カフェ」とは本学学生による回想法実践の場の愛称で、開始 5 年目をむかえる継続企画です。大学、博物館、福祉の三者が連携して地域課題に取り組む活動です。また、「回想法」とは、懐かしい道具などに触れながら、昔の経験や思い出を語り合う一種の心理療法で、博物館の社会教育活動の一環です。本学学芸員課程の学生ボランティアグループが筑紫野市のグループホームで行ってきた地域回想法を、2018 年度から福祉学と博物館学の授業にも取り込み、活動の一部を公開講座として市民にも公開しています。

(2023 年度)

公開講座「博物館資料論」特別授業 2023年11月27日(月)5限目 於1203教室

筑紫思い出カフェ2023 公開報告会 

「民俗資料の地域課題解決に向けての活用
～多世代間における「回想法」実施～」

- 1 趣旨説明 (10分) 大津忠彦(本学学芸員課程)
- 2 実施報告 (20分) 博物館学芸員課程3年生
- 3 コメント (各10分)
 - ①地域活性化の立場から
奥村俊久(福岡市経済観光文化局)
 - ②博物館の普及教育の立場から
三角徳子(福岡市博物館教育普及専門員)
 - ③地域社会福祉の立場から
永田知美(太宰府市社会福祉協議会職員)
- 4 意見交換 (10分)

お申込み・お問合せ 住所:〒818-0192 福岡県太宰府市石原2丁目12-1
TEL:0921925-9683 FAX:0921925-9683
E-mail: sakurashin@fukuoka-u.ac.jp
お申込み方法 ハガキ・FAX・Eメールまたは本学ホームページより

事業報告

(2023 年度)

月 日

2023

5 8

- 2023 博多どんたく港まつり（福岡信用金庫）
学生ボランティア 3 名参加



5 26

- 福岡県人権啓発情報センターと包括連携協定を締結



6 4

- 健康福祉フェア（済生会二日市病院主催）
学生ボランティア 7 名参加



6 22

- 「未来につなぐまちづくりワークショップ」（筑紫野市主催）
学生 2 名が参加し、筑紫高校の生徒さんと協働して課題に取り組みました。



2023

- 6 24 ●コープの森清掃活動（エフコープ生活組合主催）
学生ボランティア 1 名参加

- 6 27 ●熱中症対策講座（ランチョンセミナー）（講師：大塚製薬 大田原様）
学生約 70 名参加



- 7 18 ●東峰村応援マルシェ（主催：現代社会学部 上村ゼミ）
東峰村の豪雨災害復興支援のためのマルシェを学内にて開催。

- 7 22 ●唐人町商店街 納涼夜市（福岡信用金庫協賛に協力）
学生ボランティア 3 名参加



- 8 2 ●東峰村災害ボランティア活動（エフコープ生協より協力依頼）
主催/東峰村社会福祉協議会ボランティアセンター
2 日：職員 1 名 / 7 日：教員 1 名・学生 1 名 / 11 日：職員 1 名
29 日：職員 2 名 / 30 日：職員 2 名



- 10 5 ●済生会二日市病院による一次救命処置（BLS）講習会 @筑紫女学園大学
13 学生 21 名、教職員 37 名が参加



- 11 8 ●しんきん合同商談会（九州の中小企業が集まり信用金庫が仲介となって商談を進める）
産官学連携コーナーに出展/学生ボランティア 4 名参加



- 11 18 ●筑紫野市「観光フェア」 フードドライブで参加 学生ボランティア 4 名参加



- 18 ●日本航空「あさくら祭り/第 4 回 JAL 空飛ぶねぎ大会」学生ボランティア 7 名参加

19 真冬といってもいいような寒さと強風の中、無事 2 日間開催。350 名の参加者の方に大会を楽しんでいただくことができました。



- 12 3 ●福岡信用金庫「チャリティ餅つき大会」 福岡銀行、西日本シティ銀行等コラボ
学生ボランティア 5 名参加



- 9 ●福岡信用金庫「街頭募金 & 餅つき」
学生ボランティア 5 名参加

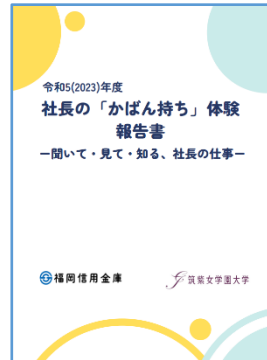


12 15

●福岡信用金庫との連携事業 社長の「かばん持ち」体験-聞いて・見て・知る、社長の仕事-
報告会（@筑紫女学園大学 7 カフェ）

2 日間、経営に関する理念や経営手法に触れることができる実践型のプログラム。

学生 3 名参加



2024

1 21

●健康福祉フェア in イオンモール筑紫野（済生会二日市病院主催）

学生ボランティア 3 名参加 ※5 時間で 8 0 名近くの子どもたちが体験に参加



3 9

●筑紫女学園大学×福岡県人権啓発情報センター包括連携協定事業「ジェンダー・セクシュアリティ・多様性」トークセッション（一般市民 65 名参加）



21

●工場見学ツアー（エコーブ主催）@鳥栖冷凍流通センター／エコセンター

流通やマーケティングに触れ、物流の仕組みや販売戦力について知り自分の職業観や視野を広げることが目的として実施。

学生 5 名参加



【連携協定先との主な活動】

●太宰府市

- ・九州国立博物館 キャンパスメンバーズの継続

●筑紫野市

- ・11/18「環境フェア」フードドライブ 学生ボランティアの派遣
- ・筑紫野市教育委員会 生涯学習課→2024 年度のホストファミリーとの連携を検討
- ・筑紫野市環境経済部 商工観光課→統計調査員の学内募集の依頼：学内掲示済

●東峰村

- ・5/31 第 1 回打合せ 手話&マルシェ（学園祭 10/21）の合同開催及び協議会について
- ・8/2 ボランティア活動後挨拶（東峰村役場等）
- ・東峰村 DX 推進評議会：委員/谷口 博文教授 ※2023 年 12 月より実施（新規の評議会）
- ・1/29 第 1 回協議会を実施（Web 会議）

●日本航空株式会社

- ・6/29 英語学科「JAL 客室乗務員による OG 懇談会/お仕事講座」（飯田 恵子講師の講義）
- ・JAL エアラインスクール（短期集中・客室乗務員コース）
- ・あさくら祭り（JAL 空飛ぶネギ大会）学生ボランティアの派遣

●福岡信用金庫

- ・社長の「かばん持ち」体験（受入企業 3 社/学生 3 名）
- ・11/8 しんきん合同商談会 @マリンメッセ A 館 学生ボランティアの派遣

●大塚製薬株式会社

- ・6/27、10/27、2/5 打合せ
- ・6/27 「熱中症ランチョンセミナー」学友会協力 @6101 教室
- ・12/4 日高 崇博准教授の講義に登壇

●エフコープ生協協同組合

- ・5/24、7/13、9/26、12/19、3/11 打合せ
- ・東峰村災害ボランティアの協力
- ・10/21 手話&マルシェを進路と合同開催（学園祭 1 日目）
- ・3/21 工場見学ツアー

●済生会二日市病院

- ・6/15、9/21、12/21、2/22 打合せ
- ・10/5、10/13 BLS 講習会を大学総務班と合同開催
- ・6/4、1/21 福祉フェア @イオン筑紫野（2 回実施）学生ボランティアの派遣
- ・3/25 「睡眠」のキーワードで済生会の安藤先生と共同研究（予定）打合せ実施

●福岡人権啓発情報センター

- ・7/26、9/13、11/15 打合せ
- ・第 56 回特別展「SDGs－持続可能な開発目標と人権－」（12/9～3/23）
→本学と共同開催 協力：上村 真仁先生
- ・3/9 筑紫女学園大学×福岡県人権啓発情報センター包括連携協定事業
トークセッション『ジェンダー・セクシュアリティ・多様性』

○筑紫女学園大学社会連携推進会議内規

平成30年5月31日

規程第16号

(目的)

第1条 この内規は、筑紫女学園大学(以下「本学」という。)に連携推進会議を設置し、学校法人筑紫女学園管理 運営規則(平成8年則第2号)第13条及び筑紫女学園大学の組織に関する規程(平成30年程第21号)第2条に定める社会連携センター及び女性活躍支援センターの任務及び業務内容に関して審議し、キャリア支援部所管業務の円滑な執行を図ることを目的とする。

(構成員)

第2条 本会議は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) キャリア支援部長
- (2) 学長が前号以外の者に委嘱した社会連携センター長及び女性活躍支援センター長
- (3) 学長が各学部専任教員の中から1名宛委嘱した委員(以下「学部委員等」という。)
- (4) 連携推進部長

2 本会議は、キャリア支援部長が招集し、議長となる。

3 本委員会の会議は、委員の3分の2以上の出席をもって成立する。

4 キャリア支援部長が必要と認めたときは、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

5 第1項第2号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 会議は、主として次の各号に掲げる事項について審議し、計画立案する。

(1) 社会連携センターに関する事項

(2) 女性活躍支援センターに関する事項

2 キャリア支援部長は、本会議の審議事項のうち、特に重要と認めた事項については、あらかじめ大学執行部会議に付議するものとする。

3 学部委員等は、本会議の審議事項のうち、筑紫女学園大学教授会規程(昭和63年程第3号)第6条に定める審議事項に該当するものについては教授会に、それぞれ提案又は報告を行うものとする。

(ワーキンググループ)

第4条 キャリア支援部長は、所管業務の円滑な執行を図るため、本会議のもとにワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第5条 本会議に関する事務は、連携推進部が担当する。(改廃) 第6条 この内規の改廃は、本学教授会の議を経て学長が行う。

附 則 この内規は、平成30年6月1日から施行する。

附 則 この内規は、令和3(2021)年5月31日から施行する。

○筑紫女学園大学の教学組織に関する規程(抜粋)

平成30年5月31日

規程第21号

(社会連携センター)

第13条 社会連携センターは、本学の教育・研究成果による「知」を活用し、地域の人々に対し生涯にわたる多様な学びの機会を提供するとともに、地方自治体・企業・NPO等と連携することにより地域社会の課題解決と発展に寄与することを任務とし、次の各号を業務に掲げる業務を行う。

- (1) 生涯学習に関する事項
- (2) 公開講座・講演会に関する事項
- (3) 域学・産学官連携に関する事項
- (4) その他社会連携センターの運営に関する事項

(2023 年度)

キャリア支援部長 : 宮原 牧子 (英語学科 准教授)

社会連携センター長 : 谷口 博文 (現代社会学科 教授)

社会連携推進会議 委員

文 学 部 : 宇野 智行 (日本語・日本文学科 教授)

人 間 科 学 部 : 原 陽一郎 (初等教育・保育専攻 教授)

現代社会学部 : 上村 真仁 (現代社会学科 教授)

連携推進部長 : 徳田 孝

2024 年 4 月 15 日

社会連携センター 年報

発 行 筑紫女学園大学 社会連携センター

〒818-0192

太宰府市石坂 2 丁目 12 番 1 号

Tel 092-925-9685 Fax 092-925-9683

E メール renkei@chikushi-u.ac.jp

<https://www.chikushi-u.ac.jp/>

編 集 社会連携センター

(連携推進部 社会連携・国際化推進班)